

荒井信介選手、幸先よく1勝!!^{240ps}ギヤランで逆転!!

91全日本ダートトライアル第1戦 / CMSC群馬 荒井信介



九州は毎年雨のち晴れといった感じで、13日の練習走行もぬめぬめ状態。時間に余裕があったので路面が少し乾いてから走ろうと思い、1本目の走行を遅らせ2本目はすぐ走りました。

路面が荒れていて車がポンポン跳ね乗りづらい。あげくにギャップで跳ばされてフロント左ナックルを曲げ、キャンバーがゼロに近くなってしまいました。しかたがないのでメジャーでトーイン調整し、タイヤ交換をして明日の決勝に備えました。

その夜また雨がポツポツ降り出し心配しましたが、ちょうど良いおしめり程度で14日の決勝スタートを迎えました。

午前中に2本走行するため、朝早くから路面を見て歩きましたが、1本目は360°ターンなどもうまくいかず、何か感じがおかしい。しかしタイムを見るとトップと、1.5秒差の4~5番目。

ようし2本目は頑張るゾと気合を入れてみんなの走りを見ていたら、ゴール手前の左直角コーナーでアウトにはらむとスピードが乗らずゴールまで大変そう。頭のスミに入れておきました。



全日本ダートラシリーズ第1戦優勝の荒井選手と愛車240PSギヤラン。

いよいよ2本目、AIIIクラスが走り始めるがタイムが伸びていない。おかしい。そして私の順番がきました。よしやるぞと気合を入れてスタート。

アクセルを踏み、ゆるめるな。路面の良い所へ行けと車を動かし、第1コーナーも第2コーナー奥のパイロンも、360°ターン、新設コースもと順調にこなす。と思いきや外側の砂山に登ってしまいました。踏み、どうにか乗り越える。

ゴール手前の左コーナー、インへ行けとハンドルを切り込みアクセル全開してゴール。終わった。

タイムを聞こうとパドックまで上がってきたら、登坂さんや久野君、大井君、小林さんとみんな来て

くれて「やったね」と声をかけてくれる。どうやらトップタイムが出せたらしい。タイムを聞くと1分32秒99、1本目1位の景山バルサーを0.4秒上回って優勝。シャンペンが頭の上から滴り落ちる、うれしい表彰でした。

240PSギヤランに乗り換えての1勝目を、全日本シリーズで挙げる事ができました。まだ始まったばかりの全日本シリーズ戦、これからが楽しみになってきました。気持ちを引き締めてがんばりますので、これからも応援してください。

全日本ダートラ第2・3戦でCMSC勢、大健闘!!

6月9日に名阪スポーツランド(奈良)で行なわれた全日本ダートトライアルシリーズ第3戦にて、我らがCMSC勢大活躍。AIIIクラスで、2位に荒井信介選手(CMSC群馬)、3位に砂塚明男選手(CMSC山形)、4位には同じく山形の赤羽政幸選手が入賞しました。

また、5月19日オートスポーツランド砂川(北海道)で行なわれた第2戦では、地元の宝田芳浩選手がAIIIクラスで2位に入賞しています。



第3戦の3位の砂塚選手。



第2戦2位の宝田選手。



鈴木功敏選手、逆転優勝!! 上位6台中5台がギャラン!!

CMSC山形/山形県ダートトライアルシリーズ第1戦/4月28日

4月28日、山形県ダートトライアルシリーズの第1戦「CMSC山形ラリープリントin舟形」を開催しました。

今シーズン、県では初のダートイベントということで多数の参加車を期待しましたが、クローズド12台を含めて全部で70台と、少々寂しい競技会となりました。



三菱自動車木全氏の総評。

ました。A-Iクラス8台、A-IIクラス19台、A-IIIクラスが14台で、特にA-IIIクラスは10台が三菱車でした(ミラージュ4WD 2台、VR-4が8台)。

快晴のなか9時にA-Iクラスの1号がスタート。転倒車が2台ほどありましたが順調に進み、午後2時には最終ゼッケン車がゴールしました。けが人もなく無事修了することができました。

今回の見せ場はA-IIIクラス。ギャラン8台の内の3台の240psと、残りの220psと205psとの新旧の対決となり、当クラブ員である福島鈴木功敏選手が、2本目で逆転してそのまま優勝しました。入賞6台中5台がギャランVR-4でした。

表彰式では、今回のテクニカルアドバイザーである三菱自動車木全氏より、各エントラントの総評をいただきました。これが大変好評で、競技会終了後も木全氏に聞きにくるエントラントが大勢いま



AIIIクラス優勝の鈴木選手。

した。

この後は7月21日に県ジムカーナシリーズの第2戦、10月6日には東北ジムカーナシリーズの最終戦を開催する予定ですので、多くの参加をお願いします。(CMSC山形 菅野 茂)

2年目を迎え、クラブ員一同やる気満々!!

CMSC愛知/クラブ便り

CMSC愛知も、皆様の仲間に入れていただき早くも1年が過ぎ、2年目を迎えました。

1年というのは長いようで短いもので、あっという間に過ぎてしまいました。振り返ってみますと、総会が2回、ラリー、ジムカーナのイベント参加、またクラブ員の交流をはかる海水浴や忘年会etc...と充実した1年を過ごすことができました。

さて2年目の今年は4月18日に総会が行われ、2年目に相応しく、CMSC会長の外川氏がはるばる愛知のために参加してくださいました。誌面をお借り

してお礼申し上げます。

総会では19名のクラブ員が参加し、組織変更や新役員選任、またジムカーナ練習会の企画、ラリー、ジムカーナの参戦の計画、リレーションなどについて話し合いました。特に会長の因選手は、昨年引き続き、全日本ラリー選手権にミニカダンガンZZ-4で参戦していく予定です。先日行われた第3戦ACKスプリングラリーでは、Aクラス7位と健闘しました。

今後も、CMSC愛知クラブ員一同、おおいに盛り

上げていきたいと思ひます。



全日本ラリーで活躍中の因選手のミニカ・ダンガン

オフィシャル協力は勉強にもなって一石二鳥!!

CMSC岐阜/毎年恒例スタートナイトラリーへのオフィシャル協力



今年も毎年おなじみの「スタートナイトラリー」へオフィシャル協力として出かけました。今年は、JAF DE地区地方選手権と格式が上がり、どのような走りが見られるか大変楽しみで、クラブ員16名と友人3名を連れてスタート地点へ行くと、Cクラスは三菱車が圧倒的に多いことにビックリしました。

我々の担当は第1ステージのCP1箇所とSSの受け出し、第2ステージのCP1箇所とSSの受け出し、そしてポストです。やはりレベル、テクニックともに違いが太いに出ました。昨年と同じ道を使ったのかかわらずリタイヤの少ないこと、わたちの深いこと、全員がレベルの違いを痛感しました。

結果はやはりギャランの優勝で終わりましたが、SSをダート100%で開催することの難しさがよくわかったラリーでした。当クラブでもこのようなラリーをいつか開催できるよう、頑張りしたいと思います。

(CMSC岐阜 浅野博孝)